

「漢字教育のおかげで、言葉の力や考え方は年齢以上」

梅島幼稚園(足立区)
園児のお母さん H・Mさん

実は私自身、この近くで生まれ育ったので、小学校のお友達にも梅島幼稚園出身の子がいました。その子はクラスの中心的存在で、とてもやさしくて気配りのできる子でした。「ちょっと他の子と違うな」という印象が子どもながらにありました。そんなことから、結婚して地元で暮らすようになって、子どもはぜひ梅島幼稚園へと思うようになったのです。

もっとも、上の娘のときは、まだ石井式というものがよくわかっていなかったで、入園前にひらがなを覚えさせてしまって……。これが逆効果で、入園当初は漢字がスムーズに頭に入ってこなくて、本人も少し戸惑った様子でした。それでも慣れるにつれ、漢字が楽しくなってきたようでしたが、これを教訓に下の子には入園前にはひらがなを読んだり書いたり、ということは一切やらせませんでした。やはり、まさるな状態で漢字に触れたほうが、自然に頭に入ってきやすいようです。

それにしても、子どもの記憶力というのはすごいと思います。入園直後に、石井先生が講演にいらして、子どもたちの前で「象さんと狸さんと^{うさぎ}さんがピクニックへ行きました……」と、黒板に漢字を書きな

がらお話ししてくださいました。それで、家に帰ってから、試しに私が同じように漢字を書いてみると、子どもはさっき聞いたばかりのお話を情感たっぷりに話してくれるのです。あまり感激したので、お父さんが帰ってきてから、もう一度やってもらったりして……。

漢字をやっていると、言葉や考え方もすごくしっかりしてきます。下の子はまだ四歳ですが、自分は大人と対等という意識があるようで、こちらが下手に子ども扱いすると、すごく反発したりします。その一方で、感情もすごく豊かで心のひたのようなものがしっかり育っていているのを感じます。先日も、ちょっときつく注意したら、次の日「私、生まれてこないほうがよかった？」と聞かれて、逆に親の私のほうがドキッとしてしまいました。

上の子は、もう小学六年生になりましたが、本はいまだに大好きで厚い本でも抵抗なく読んでいます。特に、歴史に興味があって、戦争や地雷のような子どもにとってはかなり重いテーマにも真剣に向き合っていて、自分なりに理解しようとしているようです。そういう、真剣に物事を考える力というのも、ルーツをたどっていくと幼稚園のときの漢字教育にあるのではないかと思ったりしています。